

令和元年度（平成31年度） 西伊豆町教育委員会第2回定例会

- 1 開催日 令和元年5月22日（水） 13:30 ~ 14:25
- 2 場所 西伊豆町中央公民館 1階 講義室
- 3 出席者 清野裕章教育長・鈴木秀輝委員・森本仁子委員・眞野有吏委員  
[事務局 高木光一・松田恵一・石田智直]
- 4 欠席者 山本久美子委員（職務代理）・
- 5 傍聴者 なし

教 育 長：本日の出席者は4名です。過半数に達していますので、ただ今から令和元年度第2回の定例会を開催いたします。まず、「議事録の承認について」ですが、平成31年4月24日開催の平成31年度第1回定例会の議事録については、私と森本仁子委員が確認し署名いたしましたので、ご承認いただいてもよろしいでしょうか。

（委員：全員異議なし）

教 育 長：次の議事録署名委員ですが、眞野有吏委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（眞野委員：了解）

教 育 長：次に議題に入りますが、第7号議案の「令和元年第2回西伊豆町議会定例会（6月）提出議案にかかる教育委員会の意見聴取について」は、議会審議前の重要案件が含まれておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により秘密会として審議したいと思っておりますので、西伊豆町教育委員会会議規則第10条第2項に基づき賛否を採決します。賛成の方の挙手をお願いします。

（委員：挙手全員）

教 育 長：挙手全員です。出席者の3分の2以上の賛成がありましたので、同規則の第10条第1項により、第7号議案の「令和元年第2回西伊豆町議会定例会（6月）提出議案にかかる教育委員会の意見聴取について」は秘密会といたします。それでは、事務局から説明をお願いします。

高 木：それでは、第7号議案をご覧ください。「令和元年第2回西伊豆町議会定例会（6月）提出議案にかかる教育委員会の意見聴取について」をご覧ください。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づき、町長は議会の議決を得るべき事案の案件を作成する場合に、教育委員会に対し意見を聞かなければならないとなっておりますので、提案するものであります。では、別紙資料によりご説明をさせていただきます。

（秘密会により質疑省略）

教 育 長：「令和元年第2回西伊豆町議会定例会（6月）提出議案にかかる教育委員会の意見聴取について」は特に意見がございませんでしたので、原案のとおり承認される方の挙手をお願いします。

(委員：全員挙手)

教育長：挙手全員ですので、第7号議案については原案のとおり承認といたします。これで秘密会の議案が終了しましたので秘密会を解きます。

(秘密会終了)

教育長：次に、日程4の協議になります。「平成30年度西伊豆町教育委員会の自己点検・評価報告書の内容確認について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

高木：それでは、協議案件になりますが、「平成30年度西伊豆町教育委員会の自己点検・評価報告書の内容確認について」です。こちらは、西伊豆町教育委員会評価委員会設置要綱第2条の規程に基づき、西伊豆町教育委員会の自己点検結果を評価委員に提出するため、別紙「西伊豆町教育委員会の自己点検・評価報告書」の記載内容についてご意見をいただきたく提案するものです。こちらは、自己点検・評価の考え方のところにも記載してございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検・評価を行うものであります。自己点検及び評価では、教育委員会の責任体制を明確化するため、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に分けてございます。「教育委員会の活動」では、教育委員会会議や教育委員研修などの教育委員自身が行っている活動についての点検・評価を行っております。「教育委員会が管理・執行する事務」については西伊豆町教育委員会の関連規則に則り、教育委員会が責務を果たすべき事項について自己点検を行います。「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、「平成30年度西伊豆町教育行政の基本方針」に示されている施策を基に点検・評価をおこなっております。項目ごとの詳細な内容につきましては、事前にご確認していただいておりますので、大項目毎に皆さんのご意見をいただきたいと思っております。

教育長：それでは、大項目の(1)「教育委員会の活動」からお願いします。

高木：自分たちの活動としてはもう少し評価が高いのではないかとか、コメントにもう少し加えた方が良くとかがあれば、ご発言頂ければありがたいと思っております。

森本委員：学校訪問ですが、自分にも子供がいるので、ここの学校のことは、ある程度把握はしています。他の学校などの話は多少聞くことはあるけれど、あまり知ることがないので、現状や生徒の様子を聞かせていただけるといろいろなことがわかって、自分としてはとても良かったのですが、訪問は年に1回必ずありますか。

高木：それぞれ園、小学校、中学校、年1回は行くようにしています。

教育長：では、大項目の(2)「教育委員会が管理・執行する事務」についてご意

見があればお願いします。

教 育 長：無いようでしたら、(3)の「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」ですが、ここはたくさん項目がありますので、小分けにしたいと思います。まず、中項目の「(1)確かな学力と自立する力を育む教育」についてです。この部分についてはいかがでしょうか。

鈴木委員：1番の特色ある学習の推進で、レゴブロックのロボットをプログラミングする学習を仁科小学校で見せてもらって、かなり高度なことをやっているなと思ったが、これは毎年だんだん増やしていく予定ですか。

石 田：30年度におきましては、仁科小学校だけで、レゴブロックをやっていました。31年度につきましては、仁科小学校は同じくレゴブロックを、田子小学校と賀茂小学校については、他のもので実施する予定であります。賀茂小学校がインターネットサイトを利用したフリーサイト、田子小学校は基盤を用いた教材がございまして、それを購入して取り組む予定です。

鈴木委員：どこの学校も多くの授業で使うようになりますか。

石 田：そうなると思います。

鈴木委員：仁科小学校はこの辺ではあまり例がなく凄いですね。

教 育 長：プログラミング学習というのは、小学校の中で取り入れていかなければならないというものですが、その方法については各学校に任されていて、このレゴ社のソフトを使ったものにつきましては、賀茂小学校で2年前に総務省の実証実験をやらせてもらって、その時にZ会の方でこのソフトを貸し出してくれるということで、現在仁科小学校の方で引き続き使っているという状況です。鈴木委員がおっしゃるように相当高度なもので、高度なものだけに準備期間をかけて行わなければならないので、実施するまで大変なところもあります。

森本委員：賀茂小学校の時にやらせてもらいましたが、その時は希望者だけで何名かでしたが、それがあつた時は楽しみに学校に行っていました。都会の方ではそれが塾というか、そういうスクールがあるみたいですが、こちらの方ではそういうものもないので学校でやってもらえるとありがたいです。

教 育 長：(1)についてよろしいでしょうか。無いようでしたら(2)、(3)についていかがでしょうか。

高 木：こちら全てA評価にさせていただきましたが、評価も含めご指摘いただければと思います。

森本委員：上から2番目の活動の推進のところですが、自分の子がわんぱくクラブに2年間参加させてもらいました。1年目、2年目で内容を変えてもらい、すごく楽しく他校の子と友達になることができ、2日間行動を共にする事で親睦が深まったようでした。ちょっとしたことですが、そういう機会があると子どもには良いと思います。

- 高 木：わんぱくクラブも今までは同じ場所をお願いしていましたが、昨年度は伊豆自然学校さんをお願いして、新たなメニューもいろいろ考えてもらいながら場所も変えて行いました。今後も外部の知恵も入れながら、子どもたちが楽しめるようにしていきたいと思っております。
- 森本委員：わんぱくクラブは小学5、6年生が対象ですか。中学生は部活動等で忙しいので無理でしょうか。
- 高 木：今のところは小学生を対象にということです。
- 森本委員：それは人数の問題もありますか。
- 高 木：そうですが、これから子どもの数も減ってきますので、保護者の皆様からの要望も聞きながら変えていくことはできるのかと思います。町内留学事業は、中学生だけにして実施をしておりますが、こちらニーズに応じて変えていくことは可能と考えます。
- 教育長：他の市町では、こういうクラブのOB、OGがスタッフとして参加しております。
- 森本委員：スタッフとして一緒に参加してくれるのですか。
- 教育長：そうです。
- 鈴木委員：自分は今、青少年赤十字の活動に携わっていますが、仁科小学校と田子小学校が青少年赤十字に加盟して、他の学校にもお願いしているところですが、夏、東部地区の学校の子供たちが集まってリーダー育成の機会などもあるので、そういうところに加盟してくれたらありがたいです。ある程度の補助金は出るもの大変なところもありますが、外部でも青少年育成に協力していければと思います。
- 教育長：続きまして、中項目の(4)、(5)についていかがでしょうか。
- 教育長：無いようでしたら、中項目の(6)、(7)について、いかがでしょうか。
- 高 木：(6)の指導者育成確保のところはCという評価にさせていただいております。こちらのほうは、青少年活動の方の支援が充分ではなかったかなというところもありましてCという評価になっております。指導者の育成等々というところでは、少年スポーツの方の育成にも力を入れたいということで、子ども教室等でも活動していきたいということでやってきましたけれど、この辺も、うまく指導者の方と連携を図れなかったということもありまして、反省を踏まえてCという評価となりました。
- 松 田：(5)の図書資料の充実の中で、「利便向上にも努めてました」というところですが、「利便向上にも努めました」と訂正をお願いします。
- 鈴木委員：指導者の育成のところですが、市町駅伝の指導者が学校だと学校現場でそれが負担となっていると思うので、地域の専門家がいたらその方にやってもらえば良いかと思いますが。
- 教育長：そういうご意見が学校現場からもいただいておりますので、今年度の実施につきましては工夫をしたところがございまして、それがどういう結果になるのかはこれからでございます。

教 育 長：無いようでしたら、中項目の(8)について、いかがでしょうか。

森本委員：最後の指導員の確保ですが、これは幼稚園の先生のことですか。

高 木：放課後児童クラブの関係でございまして。こちらについては現在、専従の方が1名いらっしゃるのですが、2名体制でやっていく中でプラスαの人を探すのが大変な状況ですので、現状では仁科地区以外での開設というのは非常に厳しい状況です。田子地区、宇久須地区から設置してほしいという要望はありますが、賀茂小学校は空き教室がなく、放課後児童クラブ自体を設置できるスペースが無い状況です。田子小学校は教室の空きはあります。やはり人員の確保というのが一番のネックとなっております。今、宇久須、安良里、田子から通う生徒につきましては、バスを無料で利用できるようにしまして、今年度は、宇久須地区から土曜日や長期休業期間に利用する子もいらっしゃいます。ただ、平日は学校が終わってからバスで通うというのは難しい状況があります。以前、田子地区と宇久須地区で長期休業期間中に利用されていた方は、親御さんが車で送り迎えをしていました。

鈴木委員：できない地域もあるということは、評価はAとはならずBとなるのかという気もしますが。

高 木：いろいろと配慮しながら事業を進めてきましたが、ニーズを満たしているかという点からしますとAはどうかというご指摘も当然かと思えます。他の委員さんの異論がなければB評価に変更させていただきたいと思えます。

(特に異論なし)

教 育 長：無いようでしたら、最後になりますが、全体評価について、いかがでしょうか。

高 木：先程、鈴木委員から話のありました赤十字活動の外部の青少年活動との連携という部分は入れた方がよいでしょうか。

鈴木委員：学校ごとの活動なので特に良いです。

高 木：駅伝の部分も入れなくても良いでしょうか。

鈴木委員：はい。

高 木：変更する部分につきましては、文言の訂正以外には最後の(8)の部分の小学校における子育て支援をA評価からB評価にすると修正をさせていただきます。

教 育 長：細かなところまで見ていただいてありがとうございます。その他、全般として何かありますか。特に無いようでしたら、指摘事項を修正のうえ教育委員会評価委員会に提出して下さい。本日の議事案件はすべて終了いたしました。以上をもって令和元年度第2回の定例会を終了します。皆様、お疲れ様でした。